

22. ホームページの整備を虚言で妨害・パスワードを秘匿

出来事	時期	関係者	問題
<p>学会ホームページは、2011年4月の改訂以来、主に海外からの「スパム」コメントに見舞われてきた。これはHP改訂の際に迷惑書き込みへの対策を取らず、コメントを無制限に許可したことによる。十万件を越す「スパム」(のちに業者が見積もと消去に5万円ほど)がほとんどのページにわたり溜まっていた。</p> <p>2012年12月に實川編集委員長がこれに気づき、担当の鈴木運営委員に対策を依頼した。鈴木は前から気付いていたが削除が追いつかないと返答。實川は鈴木に、現ホームページ作成者の前運営委員に問い合わせ方法を探るよう求めた。しかし鈴木はこれを拒否し、事態は放置された。</p> <p>戸田事務局長が、ホームページは「学会の顔」だとして「スパム」の削除を改めて求め、書き込みの防止措置を提案した。鈴木運営委員は新たな書き込みを止める措置を施したが、過去の書き込みは削除できなかった。このとき鈴木が「既に入ってきたものも表示されない仕様にするのがようやくできました」(ML1472 / 2012年12月26日)と報告したが、これは事実と異なり、じっさいには「スパム」の表示が続いていた。</p> <p>戸田事務局長は、<u>専門家に査定を依頼するためIDとパスワードの通知を運営委員会メーリングリスト上で求めた。</u>しかし、鈴木はこれを無視した(HPの管理責任者は事務局長なので、本来なら通知済みであるべき)。事態の進展しないまま一ヶ月半後、戸田は改めて鈴木運営委員にIDとパスワードの通知を求めた。鈴木は<u>この指示に逆らい、(対面会議による)運営委員会に諮ると述べた。</u>戸田は「このMLも運営委員会です」として、昨年来通知を求めてきたのに「反対意見あるいは対案は、全く出ていない」旨を述べ、重ねて通知を求めた(ML1632)。</p> <p>鈴木はあい変わらず要請に応じないまま、2013年2月16日の第20期第五回運営委員会において、<u>既存スパムの削除は外国版の有料ソフトを用いれば可能だが、申し込み方法がよくわからないのでしばらく待って欲しいと発言し了承された。</u>(ホームページIDとパスワードの通知には触れなかった。)</p> <p>7月に大連国際大会を控え、ホームページの整備は緊急課題であったが、鈴木運営委員は放置を続けた。戸田事務局長が繰り返しソフト購入費用の見積もりを求めた。ところが鈴木は、英語で書かれたソフトの説明が分からないとして回答を引き伸ばした。戸田はまた、鈴木委員では技術的に無理なら専門業者に見積もりを依頼すべきだとしてホームページIDとパスワードの通知を繰り返し求めたが、今回も鈴木は応じなかった。</p> <p>實川編集委員長も繰り返し鈴木委員に資料を求め、鈴木はようやくこのソフトの英語の説明ページURLを實川に送付した。ところがそこに、<u>鈴木の言う内容は書かれていなかった。</u>實川の指摘に対し鈴木は「このソフトはWordPress専用ソフトですので、WordPressを開いていないと實川さんが求めている表示は出てきません」と応答した(ML1906)</p> <p>しかしこれは、次に述べるとおり、虚偽の報告であった。</p>	<p>2011年4月から(発覚は2012年12月)</p> <p>2013年4月まで</p>	<p>鈴木 宗夫</p> <p>ホームページ担当運営委員</p> <p>戸田 事務局長 實川 編集委員長 酒木 運営委員長 田中 運営委員</p> <p>全 運営委員</p>	<p>インターネットの普及したいま、学会員も非会員も、日本臨床心理学会を知るには、まずホームページを見る。これは改めて言うほど周知の事実である。</p> <p>ところが担当の鈴木は、この「学会の顔」をスパムまみれで放置した。また、<u>権限者からの度々重なる要請、指示を無視して、事実と異なる説明まで用い、ページの整備を引き延ばした。</u></p> <p>重大な背信行為、むしろ破壊活動と言ってよかろう。</p> <p>運営委員としての職務を投げ出し、指揮系統を無視できるのは、古株としての自覚があるためではないか。役職としての指示も、新しい運営委員からなら無視できるのである。</p> <p>ふつうに考えればあり得ない行為だが、自分たちこそが正しいと信じ込めば、その地位を守るためなら何でもできる。</p> <p>・ 馴れ合いに甘えた独断 公私混同 虚偽</p>

出来事	時期	関係者	問題
<p>129 同時に鈴木がこの「外国版」ソフトの名前Akismetを検索する</p> <p>130 よう奨めたため實川が検索すると、大量の日本語サイトが現われ</p> <p>131 た。それらによりようやくこのソフトの性能と使用法がはっきり</p> <p>132 と知られ、また鈴木のこれまでの説明のほとんどは事実と異</p> <p>133 なることが明らかとなった(ML1907)。</p> <p>134</p> <p>135 1 Akismetはブログ用のスパム対策ソフトで、非常に広く普</p> <p>136 及している。</p> <p>137 2 スпамを検出して遮断するプラグインとして機能する。(す</p> <p>138 <u>でに投稿されたスパムを削除するものではない。)</u></p> <p>139 3 Akismetは無料で使える(商業利用にかぎり有料)。</p> <p>140 4 WordPress2.0以降では、Akismetは最初から付属してい</p> <p>141 る。(日臨心HPのある「さくら」ではWordPressが3.x ;</p> <p>142 Akismetが付属しており、登録すれば働く。)</p> <p>143 5 AkismetはWordPress専用ではなく、独立のプラグインソ</p> <p>144 フトである。つまり、他にも多くの適用環境がある。</p> <p>145 鈴木の説明した「外国版のスパム対策ソフト」は、なるほど外</p> <p>146 国製ではあったが日本語の使用説明があり、わが国でも広く使わ</p> <p>147 れているため、日本語による解説がネット上で読み切れないほど</p> <p>148 多量に出回っていた。しかも鈴木が導入理由としていたく過去の</p> <p>149 書き込みを削除する>機能を備えないものであった。</p> <p>150 スпам対策は振出しに戻った。戸田事務局長、酒木運営委員</p> <p>151 長、實川編集委員長、田中運営委員が繰り返しホームページのI</p> <p>152 Dとパスワードを要求したが、鈴木はまだ無視を続けた。</p> <p>153 ようやくIDとパスワードが酒木運営委員長に送付された時に</p> <p>154 は、實川がML1907で事情を説明してから3週間ほどが経過して</p> <p>155 いた。問題の発覚からは4ヶ月以上であった。</p> <p>156 IDとパスワードを用いてボランティアの会員がホームページ</p> <p>157 の整備に掛かると、スパムは一週間以内にすべて消去できた。ま</p> <p>158 た一ヶ月ほどでサイト全般が、外観、内容ともに大幅に改善さ</p> <p>159 れ、大連大会のプログラムなども掲載できた。</p> <p>160 このあいだ、ここに挙げた発言者を除く運営委員はすべて、こ</p> <p>161 の問題について沈黙を保っていた。</p> <p>162 (酒木運営委員長は運営委員会の席上、IDとパスワードを渡すよう</p> <p>163 鈴木に口頭で求めた：文字記録はないが本人の証言から記す)</p>	<p>2011年</p> <p>4月</p> <p>から</p> <p>(発覚は</p> <p>2012年</p> <p>12月)</p> <p>2013年</p> <p>4月</p> <p>まで</p>	<p>鈴木</p> <p>宗夫</p> <p>ホームペ</p> <p>ージ担当</p> <p>運営委員</p> <p>戸田</p> <p>事務局長</p> <p>實川</p> <p>編集委員長</p> <p>酒木</p> <p>運営委員長</p> <p>田中</p> <p>運営委員</p> <p>全</p> <p>運営委員</p>	<p>鈴木はAkismetに</p> <p>日本語の説明があ</p> <p>ると知っていたに</p> <p>違いない。</p> <p>学会への内外から</p> <p>の評価より自分の</p> <p>職域独占が優先</p> <p>で、学会・会員の</p> <p>利益は入る余地が</p> <p>ない。</p> <p>偽計業務妨害と</p> <p>も言える犯罪的</p> <p>な行為である。</p> <p>しかし、自分のす</p> <p>る事が学会活動</p> <p>で、古顔なら嘘も</p> <p>許されると考えて</p> <p>いるのであろう。</p> <p>この期待はじっさ</p> <p>い、古い顔なじみ</p> <p>仲間の沈黙・不介</p> <p>入の形で叶えられ</p> <p>た。</p> <p>この人物が編集委</p> <p>員長(平成25年10</p> <p>月10日現在)と</p> <p>は、驚愕を禁じ得</p> <p>ない。</p> <p>なお鈴木は、精從</p> <p>懇をめぐる藤本の</p> <p>虚偽報告でも補佐</p> <p>役を務めている。</p>

資料：鈴木委員のHPとPW／記録(48)